

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科			理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名			理学療法治療学(神経筋疾患)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (3) 時間(単位)
対 象 学 年			2年	学期及び曜時限	通年	教室名	普通教室 機能訓練室
担 当 教 員			澤田 誠、山口 祐輝	実務経験とその関連資格	理学療法士として勤務。主業務は神経難病のリハビリテーションに従事している。		
《授業科目における学習内容》							
神経難病（パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症等）についての理学療法を学習する							
《成績評価の方法と基準》							
小テスト(全5回)50% 科目修得試験50% その他授業への参加態度や学習へ向かう姿勢なども場合によって査定対象とする							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
中山恭秀 他編集、Cross link 理学療法学テキスト 神経障害理学療法学Ⅱ MEDICAL VIEW							
《授業外における学習方法》							
授業を理解するために予習・復習を通して、自主的に調べ学習を行をすること。							
《履修に当たっての留意点》							
試験（定期試験、小テスト）で不正行為が認められた者は、履修規定第4章16条に従い、当該科目を無効とする。							
授業の方法		内 容			使用教材		授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経・筋疾患に重要な脳の構造、機能について理解する		指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) :脳の構造と機能 事後学習(テキスト)(30分) :講義の振り返り	
		各コマにおける授業予定	大脳基底核、小脳、脳幹				
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	神経難病について理解する		指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) :神経難病について指定テキストを読む 事後学習(テキスト)(30分) :講義の振り返り	
		各コマにおける授業予定	神経変性、脱髄疾患の概要				
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	パーキンソン病の病態を理解する		指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :パーキンソン病の概要 事後学習(テキスト)(30分) :講義の振り返り	
		各コマにおける授業予定	パーキンソン病の概説				
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	パーキンソン病の病態を理解する		指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :パーキンソン病の概要 事後学習(テキスト)(30分) :講義の振り返り	
		各コマにおける授業予定	症状の動画視聴など				
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	パーキンソン病に対するリハビリテーションと理学療法について理解する		指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :パーキンソン病の理学療法 事後学習(テキスト)(30分) :講義の振り返り	
		各コマにおける授業予定	理学療法の目的、考え方				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	パーキンソン病患者の理学療法評価について理解できる	指定テキスト 配布資料	事前学習(30分)指定テキストを読む:パーキンソン病患者の理学療法評価 事後学習(テキスト・動画等)(30分)講義の振り返り
	各コマにおける授業予定		パーキンソン病患者の理学療法評価についての講義・演習		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	パーキンソン病患者の理学療法プログラムについて理解できる	指定テキスト 配布資料	事前学習(30分)指定テキストを読む:パーキンソン病患者の理学療法プログラム 事後学習(テキスト・動画等)(30分)講義の振り返り
	各コマにおける授業予定		パーキンソン病患者の理学療法プログラムについての講義・演習		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	パーキンソン病についてまとめることができる	指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :パーキンソン病 事後学習(テキスト)(30分) :講義の振り返り
	各コマにおける授業予定		パーキンソン病の概要から理学療法までをまとめる		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	パーキンソン病について説明できる	指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :パーキンソン病 事後学習(テキスト)(30分) :講義の振り返り
	各コマにおける授業予定		パーキンソン病の概要から理学療法についてまとめた内容の発表		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	筋萎縮性側索硬化症の病態を理解する	指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :筋萎縮性側索硬化症の概要 事後学習(テキスト)(30分) :講義の振り返り
	各コマにおける授業予定		筋萎縮性側索硬化症の概説		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	筋萎縮性側索硬化症に対するリハビリテーションと理学療法について理解する	指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :筋萎縮性側索硬化症の理学療法 事後学習(テキスト)(30分) :講義の振り返り
	各コマにおける授業予定		理学療法の目的、考え方		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	筋萎縮性側索硬化症についてまとめることができる	指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :筋萎縮性側索硬化症の理学療法 事後学習(テキスト)(30分) :講義の振り返り
	各コマにおける授業予定		筋萎縮性側索硬化症の概要から理学療法までをまとめる		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	筋萎縮性側索硬化症について説明できる	指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :筋萎縮性側索硬化症の理学療法 事後学習(テキスト)(30分) :講義の振り返り
	各コマにおける授業予定		筋萎縮性側索硬化症の概要から理学療法についてまとめた内容の発表		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	多発性硬化症の病態を理解する	指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :多発性硬化症の概要 事後学習(テキスト)(30分) :講義の振り返り
	各コマにおける授業予定		多発性硬化症の概説		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	多発性硬化症に対するリハビリテーションと理学療法について理解する	指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :多発性硬化症の理学療法 事後学習(テキスト)(30分) :講義の振り返り
	各コマにおける授業予定		理学療法の目的、考え方		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	理学療法治療学(神経筋疾患)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	通年	教室名	普通教室 機能訓練室
担 当 教 員	澤田 誠、山口 祐輝	実務経験とその関連資格	理学療法士として勤務。主業務は神経難病のリハビリテーションに従事している。			
《授業科目における学習内容》						
神経難病（パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症等）についての理学療法を学習する						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト(全5回)50% 科目修得試験50% その他授業への参加態度や学習へ向かう姿勢なども場合によって査定対象とする						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
中山恭秀 他編集、Cross link 理学療法学テキスト 神経障害理学療法学Ⅱ MEDICAL VIEW						
《授業外における学習方法》						
授業を理解するために予習・復習を通して、自主的に調べ学習を行をすること。						
《履修に当たっての留意点》						
試験(定期試験、小テスト)で不正行為が認められた者は、履修規定第4章16条に従い、当該科目を無効とする。						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	多発性硬化症についてまとめることができる	指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :多発性硬化症の理学療法 事後学習(テキスト)(30分) :講義の振り返り	
		各コマにおける授業予定	多発性硬化症の概要から理学療法までをまとめる			
第17回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	多発性硬化症について説明できる	指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :多発性硬化症の理学療法 事後学習(テキスト)(30分) :講義の振り返り	
		各コマにおける授業予定	多発性硬化症の概要から理学療法についてまとめた内容の発表			
第18回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	筋ジストロフィーの病態を理解する	指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :筋ジストロフィーの概要 事後学習(テキスト)(30分) :講義の振り返り	
		各コマにおける授業予定	筋ジストロフィーの概説			
第19回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	筋ジストロフィーに対するリハビリテーションと理学療法について理解する	指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :筋ジストロフィーの理学療法 事後学習(テキスト)(30分) :講義の振り返り	
		各コマにおける授業予定	筋ジストロフィーの概要から理学療法についてまとめた内容の発表			
第20回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	筋ジストロフィーについてまとめることができる	指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :筋ジストロフィーの理学療法 事後学習(テキスト)(30分) :講義の振り返り	
		各コマにおける授業予定	筋ジストロフィーの概要から理学療法までをまとめる			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	筋ジストロフィーについて説明できる	指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :筋ジストロフィーの理学療法 事後学習(テキスト)(30分) :講義の振り返り
	各コマにおける授業予定		筋ジストロフィーの概要から理学療法についてまとめた内容の発表		
第22回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	運動失調について理解する	指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :運動失調 事後学習(テキスト)(30分) :講義の振り返り
	各コマにおける授業予定		運動失調の概要		
第23回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	運動失調に対する理学療法評価・治療について理解する	指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :運動失調の理学療法 事後学習(テキスト)(30分) :講義の振り返り
	各コマにおける授業予定		運動失調の理学療法評価・治療		
第24回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	脊髄小脳変性症の概要について理解する	指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :脊髄小脳変性症の概要 事後学習(テキスト)(30分) :講義の振り返り
	各コマにおける授業予定		脊髄小脳変性症の概要		
第25回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	脊髄小脳変性症に対するリハビリテーションと理学療法について理解する	指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :脊髄小脳変性症の理学療法 事後学習(テキスト)(30分) :講義の振り返り
	各コマにおける授業予定		脊髄小脳変性症の理学療法の目的、考え方		
第26回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	脊髄小脳変性症の理学療法評価について理解できる	指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む: 脊髄小脳変性症の理学療法評価 事後学習(テキスト・動画等)(30分) 講義の振り返り
	各コマにおける授業予定		脊髄小脳変性症の理学療法評価についての講義・演習		
第27回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	脊髄小脳変性症の理学療法プログラムについて理解できる	指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む: 脊髄小脳変性症の理学療法評価 事後学習(テキスト・動画等)(30分) 講義の振り返り
	各コマにおける授業予定		脊髄小脳変性症の理学療法プログラムについての講義・演習		
第28回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	その他の神経難病疾患についてまとめることができる	指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) :指定テキストを読む 事後学習(30分) :講義の振り返り
	各コマにおける授業予定		その他の神経難病疾患についての概要、理学療法についてまとめる		
第29回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	その他の神経難病疾患について説明できる	指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) :指定テキストを読む 事後学習(30分) :講義の振り返り
	各コマにおける授業予定		その他の神経難病疾患についての概要、理学療法について発表		
第30回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	神経難病患者に対する緩和ケアを理解する	指定テキスト 配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :神経難病について 事後学習(テキスト・動画等)(30分) 講義の振り返り
	各コマにおける授業予定		神経難病患者に対する緩和ケア		